

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会
第9回 議事録(要旨)日時：平成31年2月4日(月)、2月5日(火)
場所：自然学総合研究所、各務原市内

参加者一覧

出席者	安藤 辰夫 大塚 之稔 西條 好迪	(一財)自然学総合研究所客員研究員 日本野鳥の会岐阜代表 (一財)自然学総合研究所理事長
事務局	坂野 嘉治 笹橋 敦志 他2名	恵那土木事務所 濃飛横断自動車道建設課 濃飛横断自動車道建設係長 恵那土木事務所 濃飛横断自動車道建設課 主任技師 玉野総合コンサルタント株式会社

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会 議事録(要旨)

議題	発言者	番号	意見の主旨	当日の回答
1. これまでの経緯について				
	検討会委員 一同	1	これまでの検討会の経緯を再確認した。	—
2. H30繁殖期の調査結果について				
	事務局		第8回検討会以降の調査で新たに得られた情報を報告した。	—
	検討会委員	2	岩屋堂ペアは、平成29年、平成30年の調査では確認されていない。平成28年頃、岩屋堂のシデコブシ群生地付近で住宅地の造成工事が開始された。営巣に不安定な場所は繁殖を避けることがあり、造成工事により巣を放棄して他の箇所へ移動したと思われる。	—
	検討会委員	3	千旦林地区等の他の事業による影響は、工事直前の営巣木の位置等の最新の繁殖情報を含めて判断する必要があるため、他事業者からのデータ提供も受ける必要がある。	いただいた意見を参考に対応する。
3. H31調査計画及び今後の中長期スケジュールについて				
	事務局		平成29年及び平成30年と2年間続けて過年度の営巣地での繁殖がみられなかった。次年度は過年度からの調査方法を見直して、行動圏調査を主として、営巣場所調査、繁殖状況調査を行う。営巣木を中心とした地点配置ではなく、調査範囲を広く確認できる地点配置とする。	—
	検討会委員	4	3年間継続して繁殖が確認されない場所は、当該地域をオオタカが利用していない可能性が高いため、一旦調査を中断してもよいと思う。別個体が入ってくる可能性もあるため、工事着手前の年度では、再度、確認する必要がある。	いただいた意見を参考に調査を実施する。
	検討会委員	5	千旦林南ペア営巣地付近における今後の工事の実施時期に関しては、非繁殖期である9月から1月までの期間で伐採等の工事をする方が、影響は少なくなる。	いただいた意見を参考に対応する。
	検討会委員	6	他の事例によれば、100m離れた箇所でも工事していても影響がみられなかった例もある。個体が慣れることも確認されている。	—
	検討会委員 一同	7	平成31年の調査計画(案)、今後の中長期スケジュールについて、事務局提案で了承する。	—
	事務局		平成31年の調査結果を踏まえ、翌年の調査実施の有無を検討委員会に諮り指示を仰ぐ。	—